

『建設物価 建築費指数<sup>®</sup>』

## 2025 年 2 月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2025 年 2 月分の指数データを 2025 年 3 月 10 日 13:00 より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

## ■2025 年 2 月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC 造)の指数は、135.4(暫定値)と前月比で 0.0%増、前年同月比 5.7%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス 寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.09]、上記以外の建築細目[+0.03]の 2 細目  
(対純工事費指数) マイナス 寄与：鉄筋(材)[-0.06]、鋼材(材)[-0.00]の 2 細目

▶事務所(S 造)の指数は、136.1(暫定値)と前月比で 0.0%減、前年同月比 4.6%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス 寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.12]、上記以外の建築細目[+0.02]の 2 細目  
(対純工事費指数) マイナス 寄与：鋼材(材)[-0.13]、鉄筋(材)[-0.02]の 2 細目

▶工場(S 造)の指数は、134.7(暫定値)と前月比で 0.0%増、前年同月比 3.7%増となった。

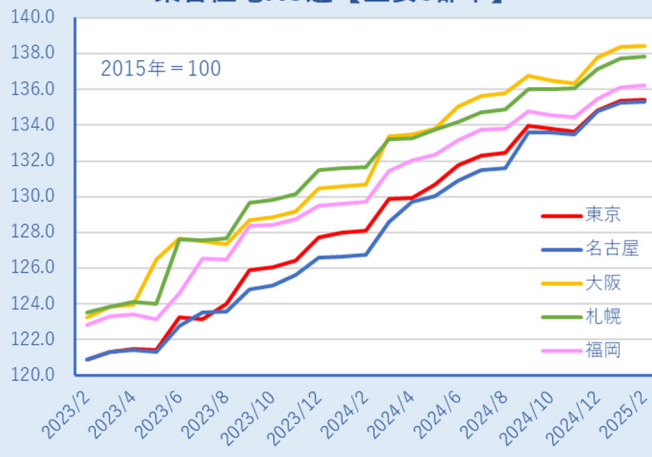
【前月からの変動要因】 プラス 寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.17]、上記以外の建築細目[+0.05]の 2 細目  
(対純工事費指数) マイナス 寄与：鋼材(材)[-0.15]、鉄筋(材)[-0.03]の 2 細目

▶住宅(W 造)の指数は、140.7(暫定値)と前月比で 0.0%増、前年同月比 4.9%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス 寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.03]、上記以外の建築細目[+0.00]の 2 細目  
(対純工事費指数) マイナス 寄与：鉄筋(材)[-0.01]の 1 細目

## ■工事原価指数グラフ■

集合住宅RC造【主要5都市】



※2025 年 1 月・2 月の指数は「暫定値(P 値)」です。

## ■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要 5 都市】

※2015 年 = 100

| 年月      | 東京     | 名古屋    | 大阪     | 札幌     | 福岡     |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2024年2月 | 128.1  | 126.7  | 130.7  | 131.7  | 129.7  |
| 3月      | 129.9  | 128.6  | 133.4  | 133.2  | 131.4  |
| 4月      | 129.9  | 129.7  | 133.5  | 133.3  | 132.0  |
| 5月      | 130.7  | 130.0  | 133.8  | 133.7  | 132.3  |
| 6月      | 131.7  | 130.9  | 135.1  | 134.2  | 133.2  |
| 7月      | 132.3  | 131.5  | 135.7  | 134.7  | 133.8  |
| 8月      | 132.4  | 131.6  | 135.8  | 134.9  | 133.8  |
| 9月      | 134.0  | 133.6  | 136.8  | 136.0  | 134.8  |
| 10月     | 133.8  | 133.6  | 136.5  | 136.0  | 134.6  |
| 11月     | 133.7  | 133.5  | 136.3  | 136.1  | 134.4  |
| 12月     | 134.8  | 134.8  | 137.8  | 137.1  | 135.5  |
| 2025年1月 | P135.4 | P135.3 | P138.4 | P137.7 | P136.1 |
| 2月      | P135.4 | P135.3 | P138.4 | P137.8 | P136.2 |

■指数動向に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

## プラス寄与

補助金支給額の縮減に伴い、全国的に燃料油が値上りしたことや、主原料である銅の建値が上伸したことによる電線・ケーブルや銅製品の値上げなどが指数動向のプラスに寄与した。

## マイナス寄与

長引く建築需要の低迷を背景に、販売店間での受注競争が激化し、形鋼や異形棒鋼、ステンレス鋼などの鋼材価格が統落し、指数動向のマイナスに寄与した。



【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町 11 番 8 号 フジスタービル日本橋 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → [https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu\\_kentiku/](https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/)